

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導員の数に応じた受け入れのため、時間帯や支援の組み合わせ、こどもの特性に合わせたスペースを作っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			どの時間帯においても、利用者様と職員が1対1で支援できる環境を整えております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所の間取りを技能スペース・職員室の大きく2フロアに分け、職員の目の届きやすいようにしています。また、事業所内の段差をなくしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子に関してフィードバックする時間を設け迅速に対応できる環境を整えております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年欠かさず公表を行っております。また、いただいた意見は株式会社クラ・ゼミとして共有し改善に向けて取り組みをさせていただいております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			⑤同上
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の外部評価ではありませんが、福山地域3校舎が互いにチェック評価を行っております。また、会社内部評価の元健全な運営を行っております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1度の地域研修、職員レベル別の社内研修など行っております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子に関してフィードバックする時間を設け迅速に対応できる環境を整えております。また、定期的に事業所内でケース会議をすることで一指導員だけでなく事業所として利用者様の個別支援計画書を作成しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			初回面談時、受付シートにて行っております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ケース会議・事業所内ミーティング・支援記録の振り返りなどを通して確認し必要によっては個別支援計画の再設定を行っております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			⑪同上
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			⑪同上

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者様によっては、集団療育をしている事業所の斡旋を行っております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼・夕礼にて利用者様の情報を担当職員が共有しており、事業所で共通認識をしております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			⑮同上
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			株式会社クラ・ゼミとして内部監査を毎年行いセルフチェックを行っております。また、月末に必ずセルフチェックを行っております。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			⑰同上 また、担当制を導入し細かな変化に気が付ける体制を整えております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			児童発達支援管理責任者並びに、担当職員が参加しております。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			積極的に、学校・関係機関に出向き、現場の職員さんと意見交換しております。また、常に見学可能としており当事業所での様子が知れるようにしております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			該当者なし。該当ケースがある場合には積極的に連携の機会を設けます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			㉑同上
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			㉑同上
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			㉑同上
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			㉑同上
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	㉑同上
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎回欠かさず出席させていただいております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			㉑同上

	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		⑨同上
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		療育の内容によっては保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方、ご家庭でのあり方 などアドバイスさせていただいております。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		⑨同上
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		ママカフェを実施しました。
非常時等の対応	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		営業時間帯はいつでも対応できるようにしております。校舎入り口に苦情窓口を掲示しております。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ライン公式サービス・当社 HP を活用し、事業所イベントの告知を行っております。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付きのロッカーを必ず使用しております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個に応じた対応を心掛けています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを事業所入り口に置き、いつでも見れる・持ち出せるようにしております。
非常時等の対応	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月、防災訓練を実施しております。また、年間でスケジュールを組み年 2 回は利用者様と一緒に避難訓練を実施しております。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年、市主催の研修を始め、社内でも独自の研修・ストレスチェックをしております。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えています。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		今後、必要に応じて医師の指示書を頂きます。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		福山地区 3 校舎でヒヤリハットを共有し事故防止に努めております。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月5日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉 校

保護者等数（児童数）41： 回収数：36

割合：87%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	36			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	11	1	勉強するスペースに仕切りを設置して、集中できるように配慮いただき、感謝しています。 駐車場が道路に面していて交通量が多く不便です。 →駐車場が道路に面しており、ご不便おかけし申し訳ございません。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	36			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	35		1	月に一度のきり広場で他の曜日の子と交流するのを楽しみにしています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	9	22	コロナが落ち着いたら、交流する機会を設けます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	3		子どもへの支援だけでなく、私の悩みや困りごとを理解してもらえて、とても救われています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	8	8	一度参加したが、子どもの学年がバラバラで、話題もついていけなかった。参加してよかったという気分になれなかった。 →今後、お子様の年齢に合わせるなど工夫して、ママカフェを実施し、保護者様が「参加して良かった。」と思ってくれるように計画していこうと考えています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	6		困りごとがあると、話をきいてもらい対応してもらえて感謝しています。 →今後も苦情がある時には迅速に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	2		

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	36			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	35	1		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	5	1	きらり広場で、クッキングの時、マスクをきちんと着用していないこがいるのが、少し気になります。 →今後、マスク着用の声掛けをして、皆様に安心して過ごしていただけるようにしていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	7	1	毎月避難訓練を実施しております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	6		楽しみにしてもらえるようにしていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	36			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。